

桜町本通り商店街活性化計画

【計画期間 R5年度 ~ R8年度】

1 現状と課題の分析

①地域概況	拳母神社の門前の発展会から70年の歴史がある商店街。平成18年に道路整備や商店街ファザード整備が完了。毎月8日に開催される八日市を中心に、豊田東高等学校や地域コミュニティと連携した事業を実施。商店街店舗の構成状況は、飲食店の新規出店や入替えはあるが、既存の物販店舗は減少傾向となっている。			
②最寄り駅	名鉄豊田市駅	③最寄り駅からの距離	400メートル	
④商店街区域	国道153号線拳母神社西交差点から市道竹生千桜町1交差点間の市道中町線約140m内とその周辺エリア			
⑤商店街区域内の店舗数	22店舗			
⑥うち組合加入店舗数	20店舗 ※賛助会員（過去の組合員など）16会員	⑦うち空き店舗数	1店舗	
⑧商店街の加入店舗構成	生鮮三品(0店0%)、衣料品(2店10%)、その他小売り(8店40%)			
	飲食店(4店20%)、サービス(2店10%)、その他(4店20%)			
⑨商店街の特徴、強み	①拳母神社の門前商店街で豊田市で一番古い商店街。 ②近隣に桜の名所が多く、“桜”にちなんだ名前の商店街である。 ③デザインされた道路と統一ファザードが整備された商店街。 ④近年、飲食店の出店が多いエリア。 ⑤近隣住民のニーズが高い八日市イベントを毎月開催。			
⑩来街者 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 高齢者		主婦	ファミリー
	<input type="radio"/> 若者		観光客	その他()
⑪来街者交通手段 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 徒歩		自転車	バス
	<input type="radio"/> 自家用車		鉄道	その他()
⑫来街者の来街に要する時間 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 15分未満	<input type="radio"/> 15分以上30分未満	30分以上1時間未満	
	<input type="radio"/> 1時間以上			
⑬商店街等が抱える課題・問題点	【重要課題1】店主の高齢化や後継者不足に伴う廃業が見込まれる。 【重要課題2】商店街を担う若手人材が不足。 【重要課題3】商店街の安全面の欠如。 【その他】◇商店街の利用者の減少 ◇飲食店以外の出店がない ◇八日市イベントの来場者数は減少傾向			
⑭地域住民ニーズ	イベント開催時の利用が多い。 八日市アンケート ※R4.10.8 (R4年度) 八日市来店客アンケート記入 210名 【年代】60代から80代の来場が多く、全体の4割以上を占める 【住所】拳母地区にお住まいの方の来訪が6割近くを占める 【頻度】年間10回以上来訪される方が最も多く、4割近くを占める 【時間】9時ごろ来街される方が多く、4割以上を占める 【手段】自動車で来街される方が多く、4割以上を占める 【その他】リピーターが多く30年以上前から来街される方も2割以上みえる			

2 商店街の目指す将来像及び目標

①商店街の目指す将来像	「桜」をテーマに「見て楽しい」「来て楽しい」「買って楽しい」商店街を目指す。 ①事業を通じて商店街の象徴である“桜”のイメージの定着を強化させ、商店街のイメージアップを図りながら賑わいのある商店街を目指す。 ②将来的に地元住民だけでなく広域集客ができる商店街を目指す。
②基本目標 (4年後の達成目標数値)	【来店数増加】 ※商店街組合員アンケート調査で、「来客数が前年より増加した回答」の店舗の割合。 (R5) 15% → (R6) 20% → (R7) 25% → (R8) 30% 【売上増加】 ※商店街組合員アンケート調査で、「売上が前年より増加した回答」の店舗の割合。 (R5) 10% → (R6) 15% → (R7) 20% → (R8) 25% 【商店街組合員数の維持】 (R5) 20組合員 → (R6) 21組合員 → (R7) 21組合員 → (R8) 22組合員

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	環境整備事業				
	事業区分	新規 継続	事業開始年度（継続の場合のみ）	平成17年度	
②実施予定時期	令和5年4月 ~ 令和8年3月				
③具体的内容	①商店街の象徴”桜”の街路樹の維持管理 ※平成30年度事業にて桜を植樹 ②店舗バナー装飾（東高との連携協力事業） ③花飾り（年2回） ④あんどんじゃんイルミネーション（東高との連携協力事業）				
④必要性・目的	①特徴のある商店街景観の創出（桜並木の名所商店街） ②商学連携・地域コミュニティ団体等連携による地域コミュニティの場の創出 ③商店街PR				
⑤ターゲット・コンセプト	【ターゲット】 ①地元住民②ファミリー③観光客（広域客） 【コンセプト】 桜をテーマに広域から集客ができる商店街				
⑥事業費・採算性の説明	【支出】 ①商店街街路樹（桜）維持管理費 60千円 ②店舗バナー製作費 80千円 ③花苗代（装飾費） 120千円 ④あんどんじゃんイルミネーション（備品費） 40千円 【収入】 自己負担 180千円 補助金 120千円				
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	①将来、桜の名所と呼ばれる商店街を目指し、誘客を図る。 →桜を地域住民や地元小学校および高校等と連携しみんなで育てる。 ②豊田東高校デザイン学科に、バナーや行灯のデザインを依頼。優秀作品を装飾に採用する商学連携の”実践の場”として話題性とPR効果をねらう。				
⑧事業効果	来客数増加				
⑨目標 評価指標 測定手法	【来店数増加】 ※商店街組合員アンケート調査で、「来客数が前年より増加した回答」の店舗の割合。 (R5) 15%→(R6) 20%→(R7) 25%→(R8) 30%				
⑩推進体制	①環境整備担当 ②商学連携担当 ※商店街組合員から役割を決めて推進。				
⑪関連計画や事業 (地域の動き等)	・商店街の名前が桜にちなんでおり、商店街の入口にある早咲きの桜はまちなかでも有名な桜となっている。また、近隣に桜で有名な桜城址公園がある。 ・中心市街地イルミネーション事業において、あんどんじゃんイルミネーションは、関連事業として位置づけ。また、近隣商店街でもイルミネーション装飾が実施。 ・花飾り事業は、自治区を含めた中心市街地全体での取り組みとなっている。				
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	5年度【1年目】	6年度【2年目】	7年度【3年目】	8年度【4年目】
	事業	通年 桜維持管理 5・11月 花飾り 12月 タペストリー入替え 12月 あんどんじゃんイルミ			
	予算（千円）	300千円	300千円	300千円	300千円
	関連計画や事業	①中心市街地イルミネーション事業 ②市街地花飾り事業 ③桜町商店街(売上促進事業・PR事業)と連動	①中心市街地イルミネーション事業 ②市街地花飾り事業 ③桜町商店街(売上促進事業・PR事業)と連動	①中心市街地イルミネーション事業 ②市街地花飾り事業 ③桜町商店街(売上促進事業・PR事業)と連動	①中心市街地イルミネーション事業 ②市街地花飾り事業 ③桜町商店街(売上促進事業・PR事業)と連動
	市補助金の申請見込み	あり	あり	あり	あり
	目標達成状況				

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	八日市を中心とした売上げ促進事業				
	事業区分	新規 継続	事業開始年度（継続の場合のみ）	平成17年度	
②実施予定時期	令和5年4月 ～ 令和8年3月 ※毎月8日に開催。				
③具体的内容	①商店街八日市ワゴンセール、共通販促ツールでのPRやクーポン配布による売上促進 ②商店街内の駐車場などの空きスペースを利用した青空市 ③豊田東高校や地元小中学校、地域コミュニティ団体等と連携した青空イベント、外国人来街客をターゲットにしたイベント ④集客を目的とした季節のお菓子のおもてなし				
④必要性・目的	①定例イベントによる商店街店舗の売上促進 ②商学連携・地域コミュニティ団体等連携による地域コミュニティの場の創出 ③日本文化を通じた国際交流				
⑤ターゲット・コンセプト	【ターゲット】 ①地元住民②高齢者③ファミリー④外国人 【コンセプト】 商店街利用機会の向上				
⑥事業費・採算性の説明	【支出】 ①イベント出演料および交通費（報償費） 170千円 ②イベント運営支援（使用料・賃借料） 150千円 ③チラシ、ポスター等印刷費（印刷製本費） 80千円 ④季節のお菓子おもてなし（市・県補助対象外経費） 120千円 【収入】自己負担 520千円 補助金 160千円				
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	①イベントの内容強化（ターゲットの来場促進） ②おもてなし事業による誘客及び効果検証 ※青空イベントは地元高校や地元コミュニティ団体等と連携				
⑧事業効果	売上増加				
⑨目標評価指標測定手法	【売上増加】 ※商店街組合員アンケート調査で、「売上が前年より増加した回答」の店舗の割合。 (R5) 10%→(R6) 15%→(R7) 20%→(R8) 25%				
⑩推進体制	①販促担当 ②イベント担当 ③商学連携担当 ※商店街組合員から役割を決めて推進。				
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	・近隣の桜城址公園で毎月第3土曜日に開催されるStreet & Park Marketは、ヤングファミリー層への需要は高いが、八日市はヤングファミリーから高齢者層までの需要を満たす日常的なイベントである。今後、Street & Park Market出店者の八日市への誘致をするなど、商店街ターゲットを高齢者からの若返りを図る予定。また、商店街へ海外からの出店があったことを契機に外国人をターゲットにしたイベントを実施し、令和4年度八日市70周年事業の成功体験を参考に事業を推進したい。				
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	5年度【1年目】	6年度【2年目】	7年度【3年目】	8年度【4年目】
	事業	毎月8日 八日市事業 秋 ニーズ・歩行者アンケート調査	毎月8日 八日市事業 秋 ニーズ・歩行者アンケート調査	毎月8日 八日市事業 秋 ニーズ・歩行者アンケート調査	毎月8日 八日市事業 秋 ニーズ・歩行者アンケート調査
	予算（千円）	520千円	520千円	520千円	520千円
	関連計画や事業	①Street & Park Market ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動			
	市補助金の申請見込み	あり	あり	あり	あり
	目標達成状況				

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	商店街PR事業				
	事業区分	新規 継続	事業開始年度（継続の場合のみ）	平成20年度	
②実施予定時期	令和5年4月 ～ 令和8年3月				
③具体的内容	①SNS等による情報発信で、商店街事業や店舗のPRをする。 ②毎年5月末に中心市街地商店街が一体となって取り組む歩行者天国イベント「ふれ愛フェスタ」において、商店街イベントも併催し、来場者に商店街をPRする。				
④必要性・目的	①商店街情報のPR ②商店街店舗の売上促進 ③商学連携・地域コミュニティ団体等連携による地域コミュニティの場の創出				
⑤ターゲット・コンセプト	【ターゲット】 ①地元住民②ファミリー 【コンセプト】 タイムリーな商店街情報の発信				
⑥事業費・採算性の説明	【支出】 ①SNS発信等広報費用（委託費・印刷製本費） 100千円 ②ふれ愛フェスタ会場設営等（委託費） 150千円 ③ふれ愛フェスタ事業運営費（委託費） 150千円 ④ふれ愛フェスタのぼり等消耗品（消耗品費） 100千円 ⑤ふれ愛フェスタ事業本部イベント事業負担金（市・県補助対象外経費） 100千円 【収入】 自己負担 400千円 補助金 200千円				
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	①SNSを有効活用した商店街情報の発信をおこなう。 ②商店街事業と共に商学連携事業の情報や地元コミュニティ団体等と連携した事業の紹介により、話題性を向上し、商店街をPRする。 ③商店街で利用できるクーポンのPRおよび配布。				
⑧事業効果	来客数増加、売上増加				
⑨目標評価指標測定手法	【来店数増加】 ※商店街組合員アンケート調査で、「来客数が前年より増加した回答」の店舗の割合。 (R5) 15%→(R6) 20%→(R7) 25%→(R8) 30% 【売上増加】 ※商店街組合員アンケート調査で、「売上が前年より増加した回答」の店舗の割合。 (R5) 10%→(R6) 15%→(R7) 20%→(R8) 25%				
⑩推進体制	①販促担当 ②イベント担当 ③商学連携担当 ※商店街組合員から役割を決めて推進。				
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	ふれ愛フェスタイベントについては、中心市街地商店街全体として開催しており、他商店街の連携連動した開催となっている。				
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	5年度【1年目】	6年度【2年目】	7年度【3年目】	8年度【4年目】
	事業	5月 ふれ愛フェスタ→クーポン配布開始 都度 SNS発信など	5月 ふれ愛フェスタ→クーポン配布開始 都度 SNS発信など	5月 ふれ愛フェスタ→クーポン配布開始 都度 SNS発信など	5月 ふれ愛フェスタ→クーポン配布開始 都度 SNS発信など
	予算（千円）	600千円	600千円	600千円	600千円
	関連計画や事業	①ふれ愛フェスタ事業 ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動	①ふれ愛フェスタ事業 ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動	①ふれ愛フェスタ事業 ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動	①ふれ愛フェスタ事業 ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動
	市補助金の申請見込み	あり	あり	あり	あり
	目標達成状況				

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	防犯カメラ設置および保守点検事業				
	事業区分	新規・継続	事業開始年度（継続の場合のみ）		
②実施予定時期	令和5年4月 ～ 令和8年3月				
③具体的内容	商店街への利用者が安心して来街できるまちづくりの推進 ①商店街地域内への防犯カメラの設置 ②商店街地域内設置防犯カメラの点検 ③地域防犯に関する警察への情報提供				
④必要性・目的	①安心・安全な商店街の形成 ②警察からの捜査協力を受けた場合の対応				
⑤ターゲット・コンセプト	【ターゲット】 ①商店街組合員②来街者 【コンセプト】 安心・安全な商店街				
⑥事業費・採算性の説明	【支出】 ①防犯カメラ設置費 1,300千円 ※R5年度からR7年度 ②点検等システムメンテナンス費 200千円 ※設置から 【収入】 自己負担 750千円 補助金 750千円				
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	商店街へ来街される方の安心性の確保				
⑧事業効果	来客数増加				
⑨目標 評価指標 測定手法	【来店数増加】 ※商店街組合員アンケート調査で、「来客数が前年より増加した回答」の店舗の割合。 (R5) 15%→(R6) 20%→(R7) 25%→(R8) 30%				
⑩推進体制	業者委託（設置→ひまわりネットワーク、システムメンテナンス→設置業者）				
⑪関連計画や事業（地域の動き等）					
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	5年度【1年目】	6年度【2年目】	7年度【3年目】	8年度【4年目】
	事業	防犯カメラ2台設置 システムメンテナンス(2台)※設置から	防犯カメラ2台設置 システムメンテナンス(4台)	防犯カメラ2台設置 システムメンテナンス(6台)	システムメンテナンス(6台)
	予算（千円）	1,500千円	1,700千円	1,900千円	600千円
	関連計画や事業	-	-	-	-
	市補助金の申請見込み	あり	あり	あり	あり
	目標達成状況				

4 区域内における不足等業種

① 当商店街（商工会）が掲げる不足等業種

- ・ サービス業（エステ、ネイルなど女性向けサロン）
-

- ・ 医療（整体、マッサージ、クリニック）
-

- ・

② 上記業種を不足等業種として掲げた理由（簡潔に）

（サービス業・医療）

定期的な来街が期待できる業種を誘致することでまちのリピート客が増え、活性化につながる。

③ その他参考情報等

空き店舗情報（令和4年10月1日時点）
1店舗 ・ 豊田市桜町2丁目30番地 1階